

民報あばしり

NO.870

2012.6.10

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三三-四四五八
F 四三三-四四五七

晴天の下で南後援会が花見!

日本共産党南後援会は、3日午前11時30分から松浦さとし事務所の中庭で花見を行いました。



昨日まで気温の低い状況が続いていましたが、この日は、朝から陽が射しはじめるとは、すばらしい天気になりました。花見日和となりました。

最初に、杉山守後援会長からあいさつがあり、続いて、松浦さとし市議から「八重桜やツツジ」など、今年が花が咲いています、天気も最高に良かったです。楽しく過ごしましょうといさつがありました。

過去最高の天気にも恵まれて、ジンギスカンやホルモンをつつきながら冷えたビールを飲むのは最高に幸せ」と、汗を拭きながら、時には木陰で涼みながら参加者はおおいに盛り上がり、次の総選挙に向けて鋭気を養いました。



国会かけある記

網走紀行 日本共産党参議院議員 大門実紀史

5月19日、はじめて網走の演説会にうかがいました。「一度網走に行きたい」と希望していたら、急ぎよ実現したものです。個人的にはもう20数回以上、網走を訪ねています。

最初は、14歳の夏で、オホーツク海とつながる野性的な能取湖に魅了されました。現在は湖口が護岸工事で固定され、周辺道路も整備されすぎて少し残念。それでも湖は茫洋(ぼうよう)としており、海の色も美しい。作家の田宮虎彦は能取の岬を日本で最も雄大な岬と称えました。冬は極寒ですが、夕照の流水を見れば、誰でもまた網走を訪ねたくなるはず。今回、志願したのは、そんな網走で、どういう方々が日本共産党を支えておられるのか、応援して下さっているのか、お

会いしてみたいと思ったからです。曇り空の風が冷たい日でしたが、演説会は2ヶ所とも満席。12区候補の菅原誠さんと私の話をみなさん熱心に聞いてくださいました。少しの冗談にも大きな反応がありました。また市会議員の松浦敏司さん、飯田敏勝さんとのユーモアあふれる懇談も楽しかった。笑いが一番の「ホッカイロ」だと思いました。

翌日は澄んだ青空。網走の党を支える方々のご苦労と明るさに敬意を表しつつ、旭川へ。小田観童(かんけい)が女満別で詠んだ歌を思い出しました。「蒼空を おのころに生くべかりけり」。政治の冬は続きますが、北の大地はウキウキするほどいい季節です。

松浦奮戦メモ

4日、野田第2次改造内閣が発表されましたが、その顔ぶれに驚きました。何と、森本敏もその一番は、森本敏

防衛大臣です。これまでの一川保夫氏、田中直紀氏と2代続いた防衛大臣が安全保障問題の「素人」と酷評されています。たが、まさか自公政権時代に安保問題のブレーンだった人を後任にするとは驚きです。

森本氏は、安倍内閣で日本版NSC(国家安全保障会議)の創設を検討する会議のメンバーとなり、麻生内閣では、防衛相補佐官として重用されたのは、米国の国防関係者とのつながりが密接で、一貫して日米同盟強化、憲法改悪を主張していたからにほかなりません。

また、海外での武力行使となる集団的自衛権の行使も容認する考えの持ち主でもあります。今回の改造内閣の人事は、自民党以上に自民党的な野田内閣の本性が、見事に現れていると感じました。

いよいよ東奔西走

全身全霊」とは身も心も、体と魂のすべてを言います。今回、消費税増税法案をめぐる、自民党との「修正」協議をめぐり、野田首相は4日、5閣僚を交代させる第2次内閣改造を行った際の決意で「消費税増税に全身全霊を尽くす」と述べたとか。

何のことはない、なんとしても増税法案は押し通す、そのためのなれあい談合を自民党との間で可能にするために、大臣の首を差し出したというのが本質です。さらに、「社会保障と税の一体改革を含む諸懸案を前進させる環境整備」とあけすけに語りました。

何とということでしょう。選挙公約をことごとく破り、導入しないとい公約した消費税増税を談合で押し通すことに「全身全霊」を尽くすとはひどい話です。同じ日、衆院社会保障・税特別委員会は東日本大震災・原発事故の被災地・福島市で地方公聴会を開きました。

中小企業や医療関係者などから、「増税と一体改革は、復興の妨げになるばかりか(地震・津波と原発事故に続く)第三の被害、政治災害とも言わなければならない」と厳しい批判が続出しました。歓迎しているのは財界だけ。身も心も財界に売り渡した野田政権にノーの審判を!

流水

いっ南にこも わかり やすい



消費税増税というものが、増税でうまくなったのは、国はひとつもなない、共産党が消費税でつくった世論があるから、消費税増税は、小沢も世論から反対する。

北朝鮮が不仲な利用して、議員、政治家、日本のメディアは、軍隊ばかり、軍事費は、韓国、日本の1/4、米国の1/8、ア、ない北朝鮮が、改憲派は、好都合

と、自覚だから、と、自民党に入った野田は、もう、こたえられなく、何を質問して、か、自民党に、赤穂、読者